



アクアマリンふくしま里山プロジェクト クウェート・ふくしま友好記念日本庭園

⑩ クウェート・ふくしま友好記念日本庭園について

本館前庭は、3.11の大震災により大きく沈下したことで貧弱な築山群になり、景観は一変した。本館とバランスのとれたランドスケープにする石と水の庭であり、また、引き続き西側に計画している「わくわく里山・縄文の里」と一体となって、「小名浜港のオアシス」を構成するランドスケープである。

① クズのトンネル

いまや荒れた里山の象徴ともなっているタケとクズによるクウェート・ふくしま友好記念日本庭園のエントランス。大国魂神社から提供いただいたマダケによる立体的な構造に、クズを誘引する。いずれクズだけで自立するふしぎな建築として、縄文の里の象徴となる。

② 砂漠は生きている

水生生物保全センター（CAL）の温室を改装して、クウェートの砂漠オアシス環境を表現した動植物のアート展示。オアシスの植物であるナツメヤシがふくしまで収穫可能か、実験的な露地栽培も行う。

③ 鮫川石記念碑

復興支援していただいたクウェートとの友好記念モニュメント。鮫川石にアラビア語で平和を意味する「サラーム」と刻んだ。

④ クズの海

クズ原に囲われた面積800平米の水面。鮫川石10石を配した楕円の水面は、眺める方向・角度・季節・時間によって様々な様相を呈する（水量450立米）。

⑤ 鯉の川

長さ80mの流路。外来魚であるが日本の庭園文化の一部ともなっている錦鯉と在来魚が共生する水路。水路自体が水質を浄化する構造になっている（水量250立米）。

⑥ 5石の石組み

アクアマリンふくしまがキーワードとしている「よみがえれ」の記念碑・鎮魂碑としての石組み（2009年に設置したものを移設）。

⑦ 防潮林（須賀）

2号埠頭全体にめぐらす、浜通りの海岸植生を再現した防潮林（須賀）。その皮切りとして東側の防潮林（須賀）造成に着手。いわき市周辺の海岸で採取した在来種の種子から苗木を育成し、継続的に補植してゆく。

⑧ 阿武隈の森

阿武隈山系の植生を再現した森。いわき市や鮫川流域などで採取した在来種の種子から苗木を育成し、継続的に植樹してゆく。

※防潮林（須賀）・阿武隈の森を構成する植物の採集・育苗・植樹を、須賀プロジェクトと称してアクアマリンふくしまと専門分野の研究者、学生、種苗家によるチームで2013年秋にスタートした。